

# FAST FACTS

## 国連開発計画 (UNDP)



Empowered lives.  
Resilient nations.

「新規医療技術のアクセスと提供に関するパートナーシップ」は、UNDPが世界保健機関(WHO)およびPATH\*と協力して実施しているプロジェクトです。このパートナーシップでは、結核、マラリア、その他の「顧みられない熱帯病(NTDs)」のための新しい世界的な医療技術の開発と、低所得国における新規技術へのアクセスと提供能力が不十分であることを踏まえ、低所得国とともに、これらの疾病に対する新規医療技術のアクセスと提供を改善すべく、能力強化に取り組んでいます。

### 結核、マラリア、その他のNTDsによる世界の負担

2011年には870万人の人々が結核にかかりましたが、そのうち110万の症例はHIV感染者が発症したものです<sup>1</sup>。また、世界における99の国と地域で、マラリアの伝染は現在も人々の生活に影響を与えています。2010年には、世界の33億人の人々がマラリア感染のリスクに直面していると推定されました<sup>2</sup>。NTDsは、サハラ以南のアフリカ、アジア、ラテンアメリカ、カリブ諸国で極度の貧困下に生活する人々の間における最も一般的な感染症であり、いわゆる「最底辺の10億人」(世界銀行による貧困の定義で1日1.25米ドル未満の収入で暮らしている14億人の人々)の感染率が極度に高くなっています<sup>3</sup>。

これらの病気は発生地域が重なっている場合が多いことから、住民の多くが複数の病気に感染しており、疾病負担(疾病により失われた生命や生活の質に関する指標)の大きな要因となっています。NTDsは相互に悪影響を及ぼすことが多く、特にこの傾向はNTDsの発生地域がHIVやマラリアと重なっているサハラ以南アフリカにおいて顕著です。NTDsに感染するとHIVに感染しやすくなることがあり、またHIV、結核、マラリアの症状が悪化する可能性があります。そのため、安全かつ効果的で適切な医療技術によってNTDsを撲滅または制圧できれば、当該国にとって開発の機会が生まれます。多くの世代が、風土病であるNTDsによって引き起こされた貧困と疾病の連鎖から抜け出すチャンスを手にするようになるからです。

### アフリカ連合(AU)のイニシアティブとの連携

アフリカではNTDsによる負担が特に重いという状況を踏まえ、また、WHOによるNTDs克服のための取り組みの推進に世界の注目が集まったことから、2013年4月、AU保健相はNTDsとの闘いに対する支援の強化を約束しました。AUは現在、2014年から2020年までの「NTDsに関する地域アクションプラン」に取り組んでおり、これにはNTDsに対応する医療技術への投資およびアクセスを拡大する、強力なコミットメントが含まれるものと期待されています。

### 主要事実:

- 世界の最も貧しい人々27億人のうち**10億人以上**が、1つ以上のNTDsに感染しています。
- WHOは**17の疾患群**を共通の特徴があるNTDsとして挙げています。共通の特徴としては、貧しくて不利な立場にあり政治的発言力が弱い人々の間で蔓延しやすいこと、研究対象として軽視されがちであること、疾病率や死亡率に対して極めて大きな影響があること等が指摘されています。
- NTDsは、**149の国と地域**における風土病です。
- ブルーリ潰瘍の新規症例は世界で**3,215件**報告されており、そのうち**3,104件**はアフリカ地域で発生しています。
- 過去50年間で、デング熱の全世界の発生率が**30倍**に増加しました。
- 1975年から1999年の間に世界市場に出た新しい化学物質1,393のうち、顧みられない病気と結核のための化学物質は**1%未満**でした。

### 新規医療技術のアクセスと提供に関する課題

2000年代に入り、NTDsが新たな注目を浴び、有望な治療法の開発が期待されてきましたが、ニーズの大きさに比べればその影響はまだ限定的です。結核、マラリア、その他のNTDsのための新規医療技術が徐々に増加してきているにもかかわらず、低所得国がそれらの技術を吸収できる力(あるいは、それらの技術に確実にアクセスし提供する力)は、依然として弱いことが実証されています。低所得国が新しい技術を吸収する体制を整える際には、以下の3つの主要決定要因が影響します。

**イノベーション(革新)**: 途上国の人々の特定のニーズに合わせて医療技術を開発する必要があります。また、途上国の状況に合わせて、新製品や改良品をより適したものにするための継続的な適応研究と、優先事項の決定に途上国の利害関係者の声を反映させる取り組みも必要です。

**アフォーダビリティ(負担可能な費用で医療技術・サービスを受けられること)**: 医療技術の費用と価格、および医療技術の調達に利用できる資金が、アフォーダビリティに極めて大きな影響を及ぼします。さらに、知的所有権および競争が医療技術のアフォーダビリティに与える影響について精査することも重要です。

**各国の能力:** 医療技術のアクセスと提供は、国レベルの適切な医療インフラおよび資源の有無に左右されます。政策と規制環境、基本インフラ、必要なスキルを備えた適切な人的資源、1次および2次医療提供システムが機能しているか等の数多くの要素が、治療技術を活用するための中心的役割を果たします。

### 「新規医療技術のアクセスと提供に関するパートナーシップ」とは

UNDPではWHOおよびPATHとの連携に基づき、国および地域レベルの利害関係者と協力しながら、新薬開発と、途上国でのアクセスおよび提供の間にあるギャップを埋める道を探っています。「アクセスと提供に関するパートナーシップ」では、以下のことに重点を置いています。

- 法律および政策上の枠組みを強化し、結核、マラリア、その他のNTDsのための新しい世界的医療技術のアクセスと提供を促進する。
- 新しい世界的医療技術に対する各国固有のニーズ、潜在的市場規模、利用者の視点を把握するために、疫学調査の評価能力を構築する。
- フェーズIVの臨床試験(安全性と効果を確認するための最終段階の臨床試験)を監視する保健部門の能力を強化する。
- 新しい世界的医療技術のための持続可能な資金調達および予算編成に関して、低所得国の能力を強化する。
- 新規技術の発見から商品化までのさまざまな段階の能力を構築して、新しい世界的医療技術に適切な価格が設定され、供給が人々の需要に見合うようにする。
- 結核、マラリア、その他のNTDsのための新しい世界的医療技術のサプライチェーンなど、提供システムの能力を強化する。

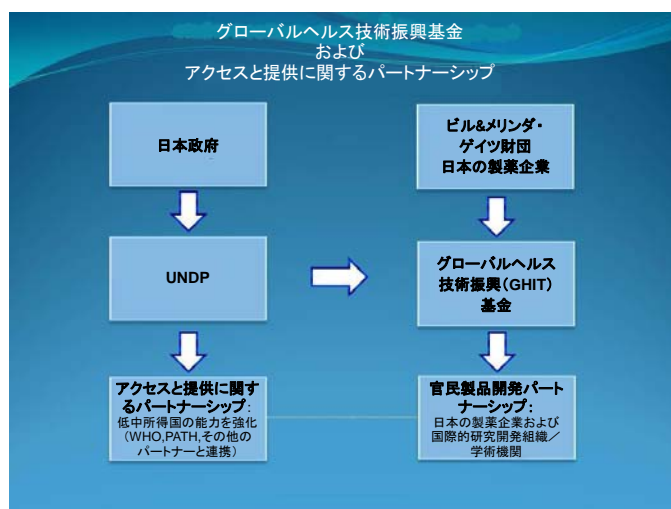
本パートナーシップの目的は、新規医療技術のアクセスと提供を促進する、あるいは妨げる要因に対処し、利用範囲をできるだけ迅速に拡大することにあります。低所得国において適切な介入の施策を策定・実施するために、「アクセスと提供に関するパートナーシップ」では以下の戦略的要点を指針とします。

- イノベーション(革新)とアクセス(入手)の間の適切な連携を確保する。
- 途上国でのイノベーションを可能にする環境作りを促進する。
- 持続可能かつ負担可能な費用で医療技術のアクセスを確保する。
- 戦略的な南南協力を可能にする。

### 「アクセスと提供に関するパートナーシップ」とGHIT基金との関係

グローバルヘルス技術振興(GHIT: Global Healthcare Innovation Technology)基金は、日本政府とビル&メリンダ・ゲイツ財団によって設立された官民パートナーシップであり、日本の複数の製薬企業で構成された共同体とともに、結核、マラリア、その他のNTDsのための新規医療技術の発見と開発を促進しています。

GHIT基金と「アクセスと提供に関するパートナーシップ」はそれぞれ独立したものでありながら、相互に補完し合う存在です。両者は日本政府からの資金提供によって接点を有するとともに、結核、マラリア、その他のNTDsのための新しい世界的な医療技術の開発を支援することによってミレニアム開発目標(MDGs)の目標8に対応し、低所得国の能力を構築し新規医療技術のアクセスと提供を推進するという、共通の目的を持っています。下の図は、2つのプロジェクトの関係の概要を示しています。



注:

1. WHOのグローバル結核レポート2012にある概況報告 ([http://www.who.int/tb/publications/factsheet\\_global.pdf](http://www.who.int/tb/publications/factsheet_global.pdf)から入手可能)
2. WHO事務局長が2013年4月5日付けで、2015年までに途上国、特にアフリカでの、マラリアの制圧と撲滅に対する取り組みの成果を確固たるものとし、さらに促進するという、総会決議66/289の実施について報告 ([http://www.who.int/malaria/publications/atoz/UNGA\\_malaria\\_report\\_2013\\_English.pdf](http://www.who.int/malaria/publications/atoz/UNGA_malaria_report_2013_English.pdf)から入手可能)
3. WHO(2010年)「Working to overcome the global impact of neglected tropical diseases: First WHO Report on neglected tropical diseases (顧みられない熱帯病の世界規模の影響を克服するための取り組み: 顧みられない熱帯病に関する初のWHO報告書)」、WHO、ジュネーブ。

\* PATH: イノベーションによる国際保健を推進する非営利団体。

詳細については、以下にお問い合わせください。

Tenu Avafia [tenu.avafia@undp.org](mailto:tenu.avafia@undp.org)  
 HIV, Health and Development Group  
 United Nations Development Programme  
 One United Nations Plaza  
 New York, NY 10017 USA

2013年6月